



### 君の余命が消えぬまに

幾つもの決断に、悲しくも温かい涙が流れる感動作!

心臓病が発覚し、退職を決めた生内花菜は、最終日に同僚から都市伝説のような余命銀行の話を知る。親友とも心の距離を感じて落ち込んだ矢先、不思議な女性、杉本朋子と出会う。彼女が案内したのは——余命銀行だった。実在に驚きつつも、謎めいた支店長・伊吹と黒猫ワトソン、朋子とそこで働くことにした花菜は、命を預けにくる人々に寄り添っていくが……?

304頁(予定)  
予価:本体740円(税別)  
ISBN978-4-591-17698-6  
8111-348

オススメ併売

冬シリーズ4点!



『この冬、いなくなる君へ』



『あの冬、なした恋を探して』



『その冬、君を許すために』



『いつかの冬、終わらない君へ』



『この恋が、かなうなら』  
(集英社オレンジ文庫)

静岡本大賞受賞!!



著者プロフィール いぬじゅん

奈良県出身、静岡県在住。2014年、「いつか、眠りにつく日」(スターツ出版)でデビュー。「この冬、いなくなる君へ」等の「冬」シリーズ(いずれもポプラ社)は累計25万部を突破。

### 本のない、絵本屋クッタラ

ポプラ文庫

おいしいスープ、置いています。



装画●せいじちん

272頁(予定)  
予価:本体760円(税別)  
ISBN978-4-591-17696-2  
8101-463

「今宵も喫茶ドードーのキッチンで。」標野風の新作!

札幌の『本のない、絵本屋クッタラ』はインクブルーの三角屋根が目印の、店主・奏と共同経営の八木が切り盛りする本屋兼カフェ。メニューは季節のスープセットとコーヒーのみだが、育児に悩んだり、今の立ち位置に迷った客が今日もやってくる。店に本はないが、奏は話にそっと耳を傾け、後日悩みに寄り添う絵本を差し出す。そのチョイスに感情が揺さぶられて……。

オススメ併売

標野風の好評既刊 全面帯で展開します!!



著者プロフィール 標野風

静岡県浜松市出身。東京、福岡、札幌と移り住む。福岡で開業し、現在は都内で小さなお店「西夜」を切り盛りする。



『今宵も喫茶ドードーのキッチンで。』  
(双葉文庫)



『終電前のちいごはん』 業院文庫のみかづせじ



『終電前のちいごはん』 業院文庫のみちくせじ

### 夕闇通り商店街 たそがれ夕便局

ポプラ文庫



208頁(予定)  
予価:本体760円(税別)  
ISBN978-4-591-17697-9  
8101-464

その郵便局は、過去から未来のどこでも手紙を届けてくれる

神社の境内の先に、突然見えてくるのは「夕闇通り商店街」。

そこは幽世と現世の境目にある、あやかしたちが営む商店街。現世との境界があいまいになったときに、心が不安定な人間が導かれたように訪れるのだという。

唯一の郵便局である「たそがれ夕便局」では、「あるルール」を守れば、「現在・過去・未来のどこでも、だれにでも手紙を届けることができる」というが……。

好評既刊



著者プロフィール 栗栖ひよ子

2018年『菓子先輩のおいしいレシピ』で小説家になろう×スターツ出版文庫大賞の特別賞を受賞し、書籍化デビュー。



『夕闇通り商店街 コハク妖菓子店』